

# 世界アルツハイマーデー記念映画上映会



ぼけますから、  
よろしく願います。  
～おかえりお母さん～

© 2022「ぼけますから、よろしく願います。～おかえり お母さん～」制作委員会

2022.9.3. **土** 14:00~16:00  
(開場 13:30~)

小樽市民センター・マリンホール (小樽市色内2-13-5)

入場  
無料

事前  
申込

字幕あり  
開会挨拶  
のみ、手話  
通訳あり

●定員:180名 事前申込(先着順)

●申込期間

8月8日~8月19日まで

※下記の申込先へ電話、ファクスでお申込みください。

(氏名、住所、電話番号、ファクス番号をお聞きします。定員を超過した場合のみ御連絡差し上げます)

●お問合せ、申込先

小樽市 福祉保険部 福祉総合相談室 地域包括ケアグループ

電話 0134-32-4111 内線 313

ファクス 0134-33-1128

新型コロナウイルス感染症の影響等により、開催を中止する場合があります。(市のホームページでお知らせします)

共催：小樽認知症の人を支える家族の会、小樽市

後援：小樽市医師会、小樽市歯科医師会、小樽薬剤師会、小樽市介護支援専門員連絡協議会、小樽市訪問介護事業所連絡協議会、小樽市デイサービスセンター連絡協議会、小樽市認知症高齢者グループホーム連絡協議会

## 作品のあらすじ

令和元年度文化庁映画賞、文化記録映画大賞を受賞するなど、高い評価を得たドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願ひします。』(18)の続編『ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～』。

東京で働くひとり娘の「私」(監督・信友直子)は、広島県呉市に暮らす90代の両親を1作目完成後も撮り続けた。

2018年。父は家事全般を取り仕切れるまでになり日々奮闘しているが、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症、入院生活が始まる。外出時には手押し車が欠かせない父だったが、毎日1時間かけて母に面会するため足を運び、母を励まし続け、いつか母が帰ってくるためのためにと98歳にして筋トレを始める。その後、一時は歩けるまでに回復した母だったが新たな脳梗塞が見つかり、病状は深刻さを極めていく。そんな中、2020年3月に新型コロナの感染が世界的に拡大。病院の面会すら困難な状況が訪れる。それでも決してあきらめず奮闘する父の姿は娘に美しく映るのだった――

人が生きて老いてゆく先には、必ず死と別れがあります。

でも人生の最終章は悲しいだけではありません。お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。今回もまた、誰もが自分のこととして感じてもらえる物語になったと思います。

信友 直子(監督・撮影・ひとり娘)

## 新型コロナウイルス感染予防に関するお願ひ

※新型コロナウイルス感染状況等によって、中止になる場合があります。最新の情報を小樽市ホームページで御確認ください。

※会場での検温、手指消毒、マスクの着用に御協力をお願いします。

※発熱等、体調の優れない方は、参加をお控えください。

※参加者に新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、接触者として保健所等から聞き取り調査が行われる場合があります。

## 参加申込書(ファクス用)

「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～」映画上映会 参加申込書

ご氏名		電話番号	
ご住所		ファクス	

※定員に達し次第締め切ります。定員を超過した場合のみ御連絡差し上げます。

※申込先：電話(0134-32-4111内線313)、ファクス(0134-33-1128)